

**「市民がつくる、未来のまえばし会議～
自分ごと化会議 in 前橋～」からの提案書
～家庭ごみの削減について～**

2024年3月25日

「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」

委員一同

< 目 次 >

1 「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」の概要	2
2 「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」からの提案	5
3 付録：アンケート結果	14
第1回自分ごと化会議委員アンケート結果.....	14
第2回自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	20
第3回自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	23
第4回自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	27

はじめに

私たち「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」委員は、2023年11月から2024年2月まで4回にわたって、「家庭ごみの削減」をテーマに、前橋市におけるごみ問題について話し合いました。

当初、前橋市の「家庭ごみ」の定義は、市の清掃施設に持ち込まれる量であり、清掃施設に持ち込まず、例えばスーパーの店頭回収等の事業者へ資源ごみを出すことも「家庭ごみの削減」の一助になると説明を受けました。しかし、議論を重ねるなかで、それだけではごみの総量自体は減らないことも理解し、本当の意味での「家庭ごみの削減」とは何かを真剣に考えました。会議中に見た、ペットボトルについてそのまま回収されたキャップを清掃センターの職員の方が手作業で外している映像は衝撃的であり、ごみを自分ごととして捉える大きなきっかけになりました。また、第3回会議では、徳島県佐那河内村の安富圭司さんから、市民から行政を変えていく力強さや、それにきちんと寄り添う行政のあり方を説明して頂き、私達の目標は達成できると自信を得ることができました。そして、最終的な目標は、ごみを減らすことだけに留まらず、できることは自分たちで決めて、私たちの暮らしをよりよくすることだという結論に至りました。

本提案書では、提案を「お題目ではなく、具体的にごみの削減のためにできることがあると認識しよう」、「既にある取り組みをつなげ、シェアして、もっと大きなごみの削減に取り組もう」、「定量的な目標を掲げて、長期的なごみの削減に取り組もう」の3つにまとめました。

第4回会議で提案した、前橋市と自分ごと化会議委員が、何かしらの形で1年後にお互いの取り組みを報告しあう場を設けること、またそのためにデジタルツール上でのコミュニティを作ることは、ぜひ実現していただくようお願いします。

このような機会を提供して頂きありがとうございました。これをスタートとして「家庭ごみの削減」に取り組んでいきたいと思っております。

2024年 3月

「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」委員一同

1 「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」 の概要

(1) 名称

「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」

(2) 委員の選出

住民基本台帳から無作為に抽出し、 委員参加の案内を送付した数	2,000人
応募（参加）した委員 （応募率）	38(36)名 (1.9%)

(3) 委員名（50音順）

阿美 詩織	今井 睦子	生方 ゆにこ	梅澤 乃愛
エメット 流和	掛川 大吾	黒澤 隆	齊田 侑夏
櫻井 弥生	志塚 利香	柴田 郁弥	柴田 洋子
鈴木 泰佑	高橋 恵美子	田口 さゆり	武井 遥樹
長井 光子	中澤 佑香	萩原 茜	橋爪 紗綾香
早川 豊	林 美保	林 礼愛	原 弘子
久本 陽太郎	藤井 真由美	藤田 愛	星野 正人
星野 亮馬	堀内 大也	摩庭 芳枝	谷地田 裕子
山本 泰聖	吉田 弘		

他4名

※ 承諾いただいた方のみ名簿に記載しています。

(4) 主催

めぶくグラウンド株式会社

(5) 共催

一般社団法人構想日本

(6) コーディネーター（会議全体の進行役）

石井 聡（逗子市福祉部長）

(7) テーブルファシリテーター（各班の進行役）

A 班：尾中 健人（構想日本プロジェクトマネージャー）

B 班：松原 康太（構想日本特別研究員）

C 班：今泉 宏保（太田市まちづくり推進課職員）

(8) テーマ及び各回の議論

- ・ テーマ：家庭ごみの削減

- ・ 各回の議論

(ア) 第 1 回会議：2023 年 11 月 26 日（日）9～12 時

- ・ 「めぶくコミュニティ」事業の説明（めぶくグラウンド）

- ・ 自分ごと化会議の概要説明（構想日本）

- ・ オンラインツール「Liqid」の説明（株式会社 Liquitous）

- ・ 前橋市のごみの現状と課題の説明（前橋市ごみ政策課）

- ・ 委員の自己紹介

- ・ Liqid のアカウント登録

(イ) 第 2 回会議：2023 年 12 月 17 日（日）9～12 時

- ・ 前橋市ごみ政策課との質疑応答

- ・ 家庭ごみの削減について議論

- ・ 改善提案シートの投稿

(ウ) 第3回会議：2024年1月21日（日）9～12時

- ・ナビゲーター（佐那河内村役場 安富 圭司さん）のお話
- ・家庭ごみの削減について議論
- ・改善提案シートの投稿

(エ) 第4回会議：2024年2月18日（日）9～12時

- ・自分ごと化会議の意義について説明（構想日本）
- ・家庭ごみの削減について議論
- ・「めぶくコミュニティ」の説明（めぶくグラウンド）
- ・前橋市市民活動支援センター（Mサポ）の説明（前橋市未来政策課）
- ・意見提出シートの投稿

※各回の議事録は、めぶくグラウンドのホームページに掲載しています。

URL：<https://www.mebukucommunity.com/shimin-conference>



2 「市民がつくる、未来のまえばし会議～自分ごと化会議 in 前橋～」からの提案

この提案は、全4回の自分ごと化会議での協議を通して、私たち委員が考えた、前橋市の家庭ごみの削減に関する改善提案をまとめたものです。

提案

1. お題目ではなく、具体的にごみの削減のためにできることがあると認識しよう

提案

2. 既にある取り組みをつなげ、シェアして、もっと大きなごみの削減に取り組もう

提案

3. 定量的な目標を掲げて長期的なごみの削減に取り組もう

1. お題目ではなく、具体的にごみの削減のためにできることがあると認識しよう

「エコだからごみの削減をしよう」、「税金の負担を減らすためにごみを減らそう」ではなく、「食品トレーは燃えるごみではなく、分別してプラごみとして捨てる必要があるんだ」と具体的に伝えると、家族や周りの人は動いてくれた。「家庭ごみを削減しよう」というお題目に反対する人はきっと一人もいない。それよりも、どんなことをすればごみを減らせるのか、具体的なアクションを知ることが「家庭ごみの削減」につながる第一歩に違いない。また、分別や削減の前に、ごみを出さないような買い方をするこも、ごみの削減につながることを認識し、普段の暮らしから少しずつ見直していきたい。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち
市民

<ごみが出ない買い方をする>

- その日に使うもの・食べるものだけを買う、捨てることまで考えて購入する、必要なものをあらかじめメモしてから買い物をする、包装が少ないものなどごみが出にくい商品を買う、すぐに食べるものを買うときは賞味期限が近いものを選ぶ

<ごみが出ない料理方法をする>

- 食材を皮ごと調理し無駄をなくす（食べる）、買ったものは最後まで使う、生ごみの水を切ってから捨てる

<出してしまうごみをどのようにもっと減らせるかを考える>

- 生ごみを他の燃えるごみと分けて回収し、乾燥させてから処分する
- コンポストを使い生ごみを堆肥化する
- 消費者として商品を作る企業に対してごみが出ない商品を作るよう要望する
- 学校の先生に、お知らせなどをすべて紙で配布する必要はないと伝える

<ごみについて考えたこと、知ったことを発信する、褒める>

- 家族や友人、周りの人に自分が知っていることを伝える（捨てる方、分別方法、ごみ削減に関する知識や知恵）

- 清掃工場の見学や環境イベントに参加して知る
- 削減に取り組んでいる人の頑張りを認めて褒める
- ごみ箱の種類を分ける・色付けするなど、集積場を工夫することで、まだ認識されていないごみの分別を意識させる
- 「可燃ごみ」→「燃やすしかないごみ」など、ごみの種類名を分別の意識が高まるようなものに変える
- ごみ出しに困っている高齢者、外国人への声かけ（分別ガイドブックに絵による説明を増やす、違反シールに外国語の表記をつける）
- 集積所の見守りを積極的にする、ごみ袋を記名制にするなど、市民が「自分のごみ出しは他の人に見られている」という意識をもてるような仕組みをつくる

地域

- 自治会などのコミュニティ単位で、具体的にごみ集積所の場所や維持する方法等について話し合う場を設ける（そのためにバザーをやるなど、ごみ以外で関心を持ってもらうことが大切）、その上で、自分たちがやりやすいルール（ごみを出す時間、分別の区分など）を行政に提案する
- フリマアプリでまだ使えるものを販売するなど、実は大人よりも子どもの方が詳しい領域もあることを理解する
- 適当な行政の窓口の紹介や、必要な準備の手ほどき・先導をしてくれる、市民と行政の間のつなぎ役「通訳」を地域側に置く

- 市の広報紙に毎月決まったスペースを設けてごみの情報を掲載する、清掃工場を市民に見学する機会を提供する、ごみの削減を学べるワークショップを開催する、ごみに関する出前講座を開催する
- 市民からの意見を拾いあげる場をつくる（一元化する）。ごみの削減に関するアイデアコンテストやクレームコンテストなど楽しめる内容も考える
- 楽しく・楽しんでごみを削減できるグッズを配布する
- コンビニやスーパーのレジ袋を前橋市の指定ごみ袋として使えるようにする

行政

<反対意見>

- マイバッグ運動やレジ袋の有料化の妨げになり、ごみの削減になら

ないのではないか

- 年代別に合った啓発の方法を考える（例：小学生は社会科見学、大学生はごみ関係の卒論作成イベント、SNS、YouTube 広告など）
- コンポストの使い方体験や、できた堆肥で育てた野菜の試食会などを開催して、コンポストの普及を進める。また、コンポストの購入費助成枠がすぐ上限に達するので予算を増やす
- 前橋市だけでなく群馬県、または地元の新聞社等のメディアと連携して、個人や地域で行っている取り組みを応援するような広報をする
- 「さんあーる」に市民からのアンケート・意見収集機能、TikTok のように短い分別動画を誰でも投稿できるページ、子どもが楽しめるようなゲーム機能を追加することでより身近なものにする
- 賛否両論のごみの有料回収について市民に問うことで、「家庭ごみの削減」について市民に考えるきっかけを提供する

<賛成意見>

- 現在のごみ袋の値段は全然意識しないが、値段が高くなれば、一人ひとりがごみの削減を自分のこととして考えるきっかけになる

<反対意見>

- 有料化についていけない人は、ごみをその辺に捨てたり、ごみ出しルールを守らなくなったりするのではないか、その結果ごみの回収等に携わる事業者の負担が増えるのではないか
- 「高いお金を払っているからいいだろう」という気持ちになって、きちんと分別しなくなるのではないか

事業者
(スーパー、
めぶくグラ
ウンド等)

- 容器包装の少ない売り方や「量り売り」を積極的に告知し取り組み、ごみが出ない買い物の視点から市民の意識を高める。また、資源になるものをスーパーに持参したら、割引や景品を付与する
- ごみの分別・削減をした人に「めぶくポイント」を付与する
- 「めぶくアプリ」を活用して、インターネット上で地域の会議の場を作る

学校

- ごみ分別について疑問に思うことを毎朝一つ議題にあげるなど、教育課程にごみの話題を組み込む（子どもから親に話してもらい、大人にも普及啓発）
- オンライン学習用アプリで、ごみについて学ぶ機会を提供する（家族のごみの分別を子どもが採点する等）

2. 既にある取り組みをつなげて（シェアして）、もっと大きなごみの削減に取り組もう

「ごみ関係のイベントに市民ボランティアに参加してもらっている」 by 前橋市

「ボランティア証明書を貰えれば内申書に書けるので参加したい」 by 高校生

「子ども服のリユースの NPO として活動。高校生の服はあまりない。」 by 市民

実は、前橋では、ごみ削減につながる多くの取り組みが既に存在していることがわかった。それらをつなげることで、もっと大きなごみの削減につながるはずだ。自分がごみだと思っただけのものでも、誰かにとっては価値のある宝物になる。他の人と一緒に使えるものは共有して使い、使い終わったものは身近な人や必要としている誰かに譲ったり、資源として別のものに生まれ変わらせたりすることで、前橋市を「宝（ごみ）をシェアしあうまち」にしていこう。

「提案 2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 市民

- 不用品をフリマアプリで販売する
- 服などの不用品や食べきれない食材などを NPO、フードバンクや保育園などに寄付する（保育所では段ボールを使う機会が多い、また廃材をおもちゃにできる。）

地域

- フリーマーケット、不用品の回収・修理・寄付を目的としたチャリティーイベント、不要な食材を集めて調理・提供するイベント、壊れたおもちゃを持ち込んで修繕するイベント等を開催する
- ごみ関係のイベントに市民ボランティアを積極的に募集する

行政

- シェアに取り組む団体どうしをつなぐネットワークをつくる、市民が不用品と必要品を交換できる場をつくる等、前橋市、M サポが積極的に関与する
- 市が自らごみ回収のハブになる。例えば、落ち葉回収については、回収してできた堆肥を必要な人に配布する。そのために、コンビニ、スーパー、駅、学校などと提携して、回収する場所を増やす
- ごみ関係のイベントに市民ボランティアを積極的に募集する（ボランテ

ィア証明書を発行するなど、学生が参加する動機を作る

学校

- 学校のような公共的な場がリユース・リサイクルのハブになるように仕組みを作る。例えば、制服のリユース、古紙回収、使用する機会の少ない教材・楽器（ピアノやリコーダー等）の生徒への貸し出し、不用品や食材を集めて NPO に寄付する等
-

3. 定量的な目標を掲げて長期的なごみの削減に取り組もう

「定量的な目標を掲げてごみの削減に取り組み、浮いた税金を福祉に充てる」そのような理想の取り組みが徳島県佐那河内村では実現していることを学んだ。一方で、「自治体の大きさと複雑さが違うから、前橋市ではなかなか難しい」と考えてしまうが、それは本当だろうか。佐那河内村の取り組みは10年という長い年月をかけて、真剣に取り組み、実現したもので、確かに簡単に真似することはできない。しかし、ごみを取り巻く現状を理解し、具体的な目標や目的を設定して、その達成に向けて継続して取り組むことで、佐那河内村のような大きな成果につながるし、それ自体にも価値があるに違いない。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 市民

- まずは、個人や家族で目標を立てて、ごみの削減に取り組む

地域

- 各地域でごみの削減目標を設定し、競争する

行政

- 自治会と前橋市の対話の機会を持つ（この自分ごと化会議の1年後に前橋市と委員との取組結果に係る報告会を行う）
- ごみの削減・分別によって処理費用がどれだけ削減されて、それでどんな市民サービスを提供できるか、リサイクルによって資源がどんなものに生まれ変わるかを（できれば定量的に）提示する
- ごみ集積場や有価物回収などの実態や長期的な運営面の課題を広報することで、市民にごみの課題を自分ごと化してもらう
- （全地域一斉導入が難しくても）自治会、学校、マンション等の単位でモデル地域を設定してごみの計測を行うなど、チャレンジする
- 競争する市民個人や自治会を応援し、達成した市民や自治会にめぶくアプリのポイントなどを配る

事業者

- 競争する市民個人や自治会を応援し、達成した市民や自治会にめぶくアプリのポイントなどを配る
-

3 付録：アンケート結果

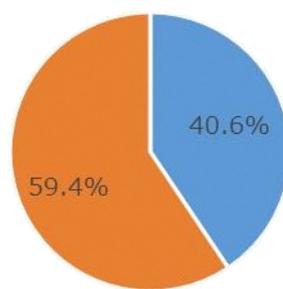
第1回自分ごと化会議委員アンケート結果

2023年11月26日実施分

回答結果：32人（回答率100%）

性別

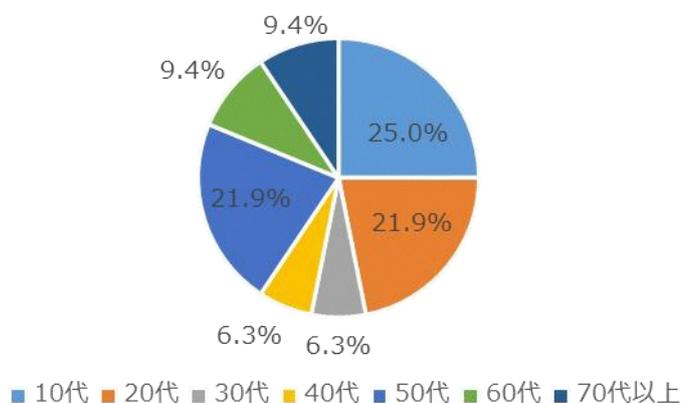
回答	件数	割合
男性	13	40.6%
女性	19	59.4%
無回答	0	0.0%
合計	32	100.0%



■ 男性 ■ 女性

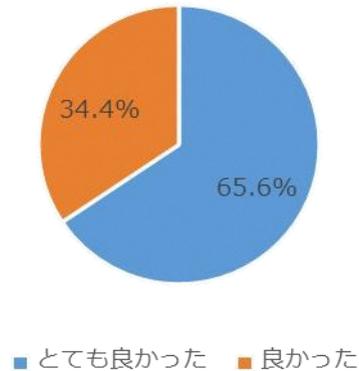
年齢

回答	件数	割合
10代	8	25.0%
20代	7	21.9%
30代	2	6.3%
40代	2	6.3%
50代	7	21.9%
60代	3	9.4%
70代以上	3	9.4%
無回答	0	0.0%
合計	32	100.0%



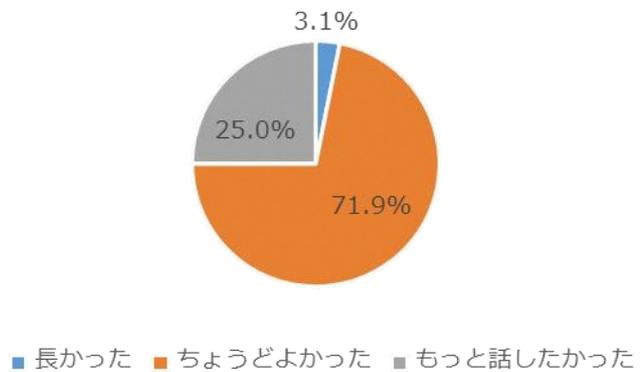
(1) 第1回会議に参加してみても良かったか。

回答	件数	割合
とても良かった	21	65.6%
良かった	11	34.4%
どちらともいえない	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
まったく良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	32	100.0%



(2) 会議の時間は十分でしたか。

回答	件数	割合
長かった	1	3.1%
ちょうどよかった	23	71.9%
もっと話したかった	8	25.0%
無回答	0	0.0%
合計	32	100.0%



(3) 対話において安心して話せる雰囲気でしたか。

回答	件数	割合
とてもそう思う	20	62.5%
そう思う	12	37.5%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったくそう思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	32	100.0%



(4) 会議に参加しようと思った理由を教えてください。

- ごみの分別の事やコンポスト使用などの興味があったから。
- 大学受験中の兄がいろんな経験をした方がいいよとアドバイスをくれたため参加しようと決めた。
- Mebuku が好きだったから、整理できるようになりたかったから。
- 分別を行うに当たり、疑問に思うことが多かったから。また、今年度末に群馬県を離れるため、生まれてからお世話になった地元になんか少しでも貢献したかったから。
- これからも住み続ける前橋市のゴミ削減に協力出来たらと考えたから。
- 集合住宅に住んでおり、全体的にゴミ出しのマナーが悪く、個別にできる事や更に自治体がどう働きかけるべきなのか考える機会が欲しかった為。
- 身近な課題解決から前橋のまちづくりにつなげたい。
- 自分はゴミの分別は親に任せてしまっている中で、この通知を貰い、ゴミについて考えると前橋市の学生としてできることであったり、問題視すべきことなど話したいことが沢山出てきたので、自分の考えを共有したいと思い参加しました！
- とても楽しかったし 色々な意見が聞けて良かったです。
- 前橋市民の中から無作為に選ばれたことが純粋に嬉しかったから。学校のプリントを毎回ゴミとして捨てるのが嫌だったけど、身近にリサイクルできる場所がなく欲しかったから。
- ゴミ問題という日々関わりのある問題でとても関心があるため。
- 「自分ごと化会議」が興味のある取り組みだったため。
- 自分の意見によりゴミ問題の解決に少しでも役に立ちたいと思ったから。
- 誰かがやらなければならないことだと思ったから。行政に参加してみたかったから。
- 自分のためになると思ったから。
- いろんなゴミの処理方法がしりたかった。
- あまり考えはなく参加しました。すこしでも何か、やくにたてることがあるかなあ〜とおもいました。
- SDGs で何ができるのかを考えていたことと、何か新しいことに参加してみたかったため。
- 町内の有価物回収に参加するうちに興味を持った。

- せっかくの機会なので、参加しようと思いました。また、自分自身の感覚だけではなく、色々な人の感覚、感じ方を聞くことで、学びになると思いました。
- 家庭・地域・職場で活かせることを見つけるため。ゴミという観点もしくは、この会議体より自分の視野を広げるため。
- 学校でレポートに書くため。
- 地元に貢献したいと思った。
- 通知がきたから、ゴミに興味があるから。
- 会社近くのゴミ処理場の状態が酷かったので改善できないかと思いました。
- 自分が多少考えている内容だったのと、進学を決めていてそのあと一人暮らしをすることまで決定しているので、参加してみようと思いました。
- 主婦なので、毎日出る生ゴミとの格闘を、前橋発進で何か変えられるのかと期待。
- 自分が前橋市の役に立てる良い機会だと思ったから。
- ゴミの再利用に興味がある。
- 第1：時間に余裕有り 第2：自分でごみ出ししているので
- ゴミ屋敷の古い家に住んでいます。徐々に片付けているのですが、遅々として進みません。まさに自分ごと化と思い、参加しました。

(5) 第2回会議では、前橋市が行っているごみ関連の事業について、質疑応答を行います。前橋市に聞いてみたいことがありましたら、ご記入ください。

- 分別しなくてはいけない地域としなくても良い地域の違い、その理由を知りたい。
- 資源ごみについて、洗うべきものが存在するのはなぜか。他の自治体やコンビニなどでは、洗わずにプラごみとして捨てられるところもある。ペットボトルや缶も、洗わずに捨てられる自治体がある。なぜ前橋は洗わなければならないのか。
- 学生向けのゴミ削減イベントは行っていますか。
- 分別についての周知は具体的に紙ベースだと思いますが、転入者に対してアプリの活用などのガイダンスはされていますか？
- 市民への周知はどのようにしているのか？
- 紙のリサイクルは学校以外の場所でどうやって行っているか知りたいです！
- もっとごみに関するの情報を知りたいし周りの方々にお伝えしたいです。
- パックやトレーなどの洗う、洗わないで違いがあるのか。

- 家電 4 品目について、回収業者を以前のように前橋近辺にも指定する予定はありますか？
- これまで行ってきた普及啓発事業によるごみの削減効果はどれくらいありましたか？
- ごみの分別をどこまで行ったら良いか線引きがわからないので、聞きたいです。
- 高齢者へのこんにちは収集の件数。いわゆるゴミ屋敷への対応件数と事例。
- ペットボトルより缶の方が環境にやさしいって本当ですか？
- 草木の出し方について。
- ゴミ分別について詳しくわかると嬉しいです。
- ゴミの回収の方がやりやすい方法はどのようなものなのか。
- 小型家電のうち、BOX に入らないものの回収が中止になった経緯や現在はそれらを捨てる時どうすれば良いのか。
- 前橋市のゴミの詳細などはとてもわかりやすくてよかったです。ただ、事前資料にある同じ群馬県内のゴミの平均量が少ない地域と比べた時に、何が違うのか等を聞きたいです。とても、ヒントになると思います。また、学校には、強制することはできませんが、努力義務といった形で、紙をリサイクルするように要請することなど、できることから始めていくのも一つかと思います。※参加していた高校生の話を聞き、少なくとも高校でよく出る紙を資源に回すだけで、とてもゴミを減らせると思いました。また、市として、今のさんあーるアプリの現状に満足しているのかどうか。今後、どういったことをアプリを通じて発信していくのか。アプリ普及の広報戦略なども知りたいです。
- 分別方法について。どこからが可燃で、どこからが資源かなど。民間で実施しているリサイクルに対しての補助や斡旋方法など。
- 小学校などに設置してあるキャップや古紙の回収箱は置いてある場所無い場所があったりするのなぜですか？
- 自分の知らないところで様々なゴミの分別や焼却方法などがあった。
- 小坂子にできる新ゴミ処分場は、何年くらい使用できるのか。
- 学校によってゴミへの意識が大きく違うので、意識の高い小中学校を増やして欲しいです。
- 色々な発信をして頂いていますが、あまり伝わっていない印象です。
- 分別されているゴミと分別されていないゴミとでは、処理をするコストにどのくらい違いがありますか？

- きれいなゴミは資源、汚れていれば可燃物、その境がわからない。

(6) 次回以降の会議に向けての要望等がありましたら、ご記入ください。

- 駐車券はサービス券対応等していただけるとありがたいです。
- 横長のデスクだと遠くなって話しづらい人ができてしまうので、座席の配置を変えてほしいです。
- 例えばトレーなどはどの程度きれいにすれば、プラに出せるか。
- 話の続きを聞きたい、話しやすい方たちのグループだったので、次回もこのグループだといいなとか思いました。
- 手書きで卓上に用意するものでなく事前に胸などに名前や一言紹介などをつける名札などがあるとわかりやすいのではと思う。
- 様々な視点からゴミについて考えて意見をまとめておく。
- なぜ汚れたプラスチックは可燃ごみで洗ったプラスチックは不燃ごみなのか？
- とても意味のある会議内容だと思うので、是非実用化など、最終的に実りあるものになると嬉しいです。
- 議論の時間がもう少し欲しい。

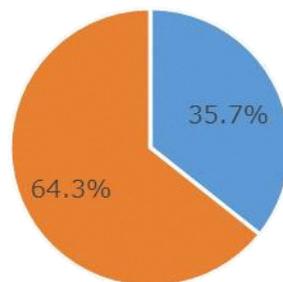
第2回自分ごと化会議参加者アンケート結果

2023年12月17日実施分

回答結果：14人（回答率48%）

性別

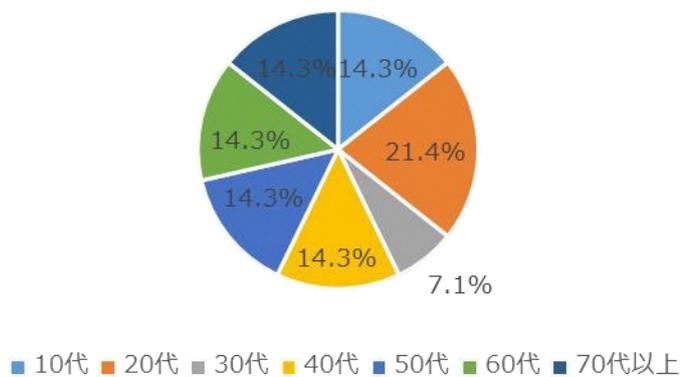
回答	件数	割合
男性	5	35.7%
女性	9	64.3%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



■ 男性 ■ 女性

年齢

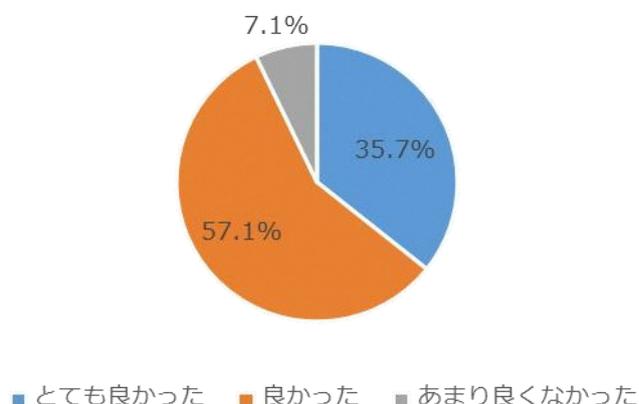
回答	件数	割合
10代	2	14.3%
20代	3	21.4%
30代	1	7.1%
40代	2	14.3%
50代	2	14.3%
60代	2	14.3%
70代以上	2	14.3%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

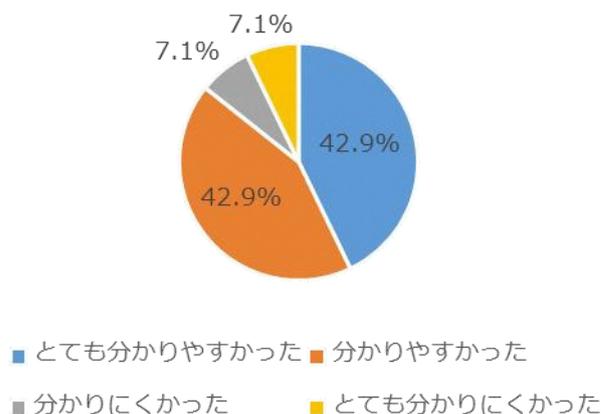
(1) 第2回会議に参加してみても良かったか。

回答	件数	割合
とても良かった	5	35.7%
良かった	8	57.1%
どちらともいえない	0	0.0%
良くなかった	1	7.1%
まったく良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



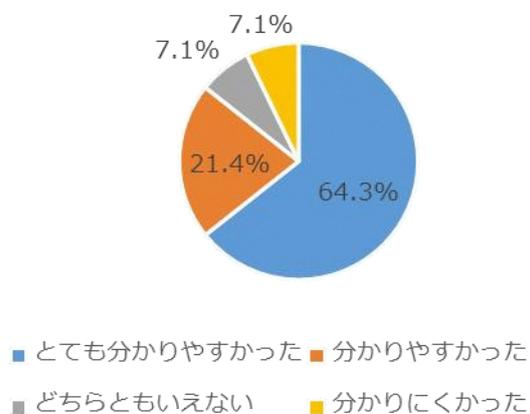
(2) 市職員の説明や質問に対する答えはわかりやすかったですか。

回答	件数	割合
とても分かりやすかった	6	42.9%
分かりやすかった	6	42.9%
どちらともいえない	0	0.0%
分かりにくかった	1	7.1%
とても分かりにくかった	1	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



(3) コーディネーター（全体の進行役）の進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	件数	割合
とても分かりやすかった	9	64.3%
分かりやすかった	3	21.4%
どちらともいえない	1	7.1%
分かりにくかった	1	7.1%
とても分かりにくかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



(4) テーブルファシリテーター（班の進行役）の進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	件数	割合
とても分かりやすかった	10	71.4%
分かりやすかった	2	14.3%
どちらともいえない	2	14.3%
分かりにくかった	0	0.0%
とても分かりにくかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%



(5) 次回以降の会議に向けての要望等がありましたら、ご記入ください。

- 話の続きを聞きたい、話しやすい方たちのグループだったので、次回もこのグループだといいなとか思いました。
- 全体の話が長く討論の時間にもっと費やせると良い。その為事前資料など頂けるとスムーズである。
- 班の皆さんと沢山意見交換を行いたいので、班別の話し合いの時間を増やして欲しいです。
- マスクを着用していた為もあり、リモート会議に慣れすぎた面もあり、端まで声が届かないとの指摘を受けました。円卓ではないですが、囲むような座り方でも良かったかもしれませぬ。その方がお名前も良く見えたのかなと思います。
- 説明が難しかったので、簡潔にしてほしいです。
- 当日の配布資料についても紙での配布は希望制で良いと思います。(第1回の議事録が郵送・当日で2部配られています。)
- 開始時間を30分繰り下げてほしい。
- とても意味のある会議内容だと思うので、是非実用化など、最終的に実りあるものになると嬉しいです。

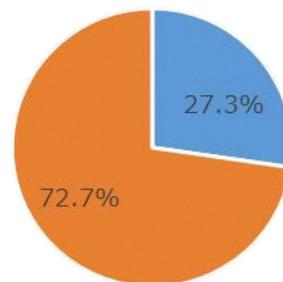
第3回自分ごと化会議参加者アンケート結果

2024年1月21日実施分

回答結果：11人（回答率48%）

性別

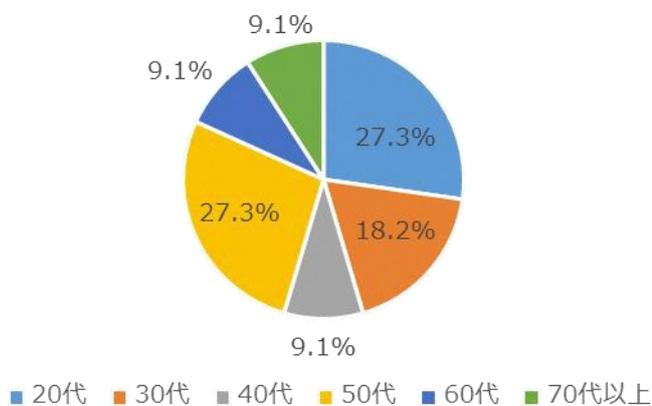
回答	件数	割合
男性	3	27.3%
女性	8	72.7%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%



■ 男性 ■ 女性

年齢

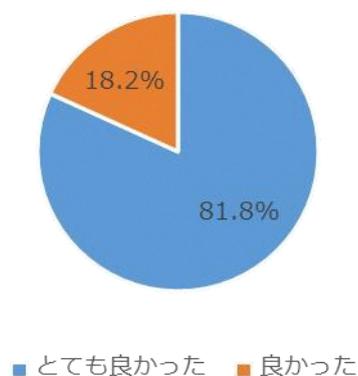
回答	件数	割合
10代	0	0.0%
20代	3	27.3%
30代	2	18.2%
40代	1	9.1%
50代	3	27.3%
60代	1	9.1%
70代以上	1	9.1%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

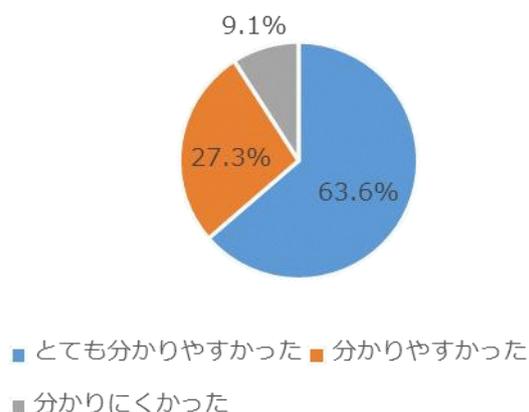
(1) 第3回会議に参加してみても良かったか。

回答	件数	割合
とても良かった	9	81.8%
良かった	2	18.2%
どちらともいえない	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
まったく良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%



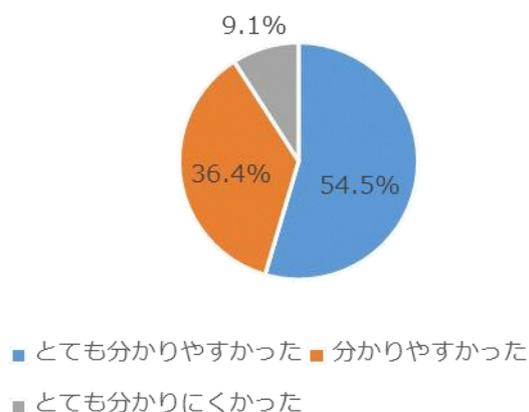
(2) コーディネーター（全体の進行役）の進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	件数	割合
とても分かりやすかった	7	63.6%
分かりやすかった	3	27.3%
どちらともいえない	0	0.0%
分かりにくかった	1	9.1%
とても分かりにくかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%



(3) テーブルファシリテーター（班の進行役）の進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	件数	割合
とても分かりやすかった	6	54.5%
分かりやすかった	4	36.4%
どちらともいえない	0	0.0%
分かりにくかった	0	0.0%
とても分かりにくかった	1	9.1%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%



(4) ナビゲーター（安富圭司さん）の話を聞いて、発見したことや気づいたことがありましたら、ご記入ください。

- リーダーのいない全員参加で決めることのメリット・デメリットがわかり普段の生活に結び着く非常に参考になりました。
- 個人でなく地域から取り組んで、発信していくという方法があるんだなと思った
- 現状を変えるには、危機感の共有とゴールの設定が必要だと思った。ごみの分別についても、ごみ集積所を使う人同士で「こうしたい」「変えたい」という気持ちを伝え合うことができたらいい。
- 非常に勉強になった。ある種、行政のせいにしてしまっていた部分があり、反省しました。しっかりと市民の意識を変えることができれば、それは、自然とゴミも減っていく。とても勉強になりました。
- 最初に感じたのは、温かな固い繋がりのある理想的な環境だと心の底から思った。地域住民ではなく仲間意識。常に感謝の心を忘れない。ゴミ集積所は資源の宝。自発的に動くフットワークの軽さも素晴らしい。時間かかってもこれだけ基盤が固い関係性ができていれば、どんな問題でも対応していけると思う。住民が少なければ、個々の背負う役割も大きいけれど、助け合いながら共存して行く気持ちさえあれば、地球規模で起こりうる問題さえ簡単に解けるのではと思ってしまう。単純だけれど、これ程難しいことはない事も同時に感じた。
- 佐那河内村の良い部分を吸収しながら、前橋市の状況にあったゴミ削減モデルを構築する必要があると感じた。
- 今回の安富先生の講演を聞いて、地域の人と積極的に話す機会が大切だと思いました。またこのような話し合いの場を設けることは話しやすい雰囲気などの環境作りも大切なのではと思いました。
- 風光明媚な土地に暮らす人々を想像しました。景観はそこに暮らす人々が創るものですね。
- 山あいの穏やかな素晴らしい村で、昔からある地域の伝統的な仕組みが、今に活かされているのをうらやましく思いました。住民主導のリーダーを作らない活動の成果を見れば、時間はかかるけど、かけるだけの価値があると言われた意味がよく分かりました。前橋の地域でも出来るのでは？と期待を持ちました。真似から始めて前橋独特のものを見つけられたらと思います。

- 安富さん自身が楽しんで取り組んでいる、と感じた。だから周りも感染していくのではないかと。安富さんの作った料理を食べてみたい。

(5) 次回以降の会議に向けての要望等がありましたら、ご記入ください。

- あと一回で最終なので結論までたどり着くのか、終わったあとにも引き続き意見を出し合える環境があると良い。
- 会議の前半は資料の提示や講義があるが、説明をはじめる前に要点や目的を提示してほしい。
- 今回欠席者の席を詰めて会議して頂いたので発言者の声が聞きやすかったです。ありがとうございました。
- もっと皆さんの話を聞きたいので、討論の時間を増やしてほしいです。
- 難しい顔にならずに、ちょっと笑えるような話しあいができるの良いアイデアが出そうです。
- 他の県、市、町などではどんなことを実践しているか、今回の様に聞いてみたい。ゴミ収集車で仕事をしながら、お笑いタレントをしている、マシンガンズ滝沢さんの話し(面白くて勉強になります！)を皆さんに聞いてほしいです。

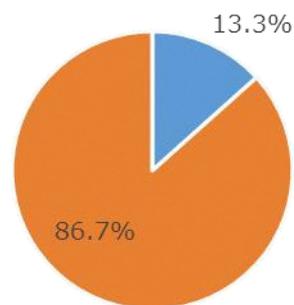
第4回自分ごと化会議参加者アンケート結果

2024年2月17日実施分

回答結果：15人（回答率54%）

性別

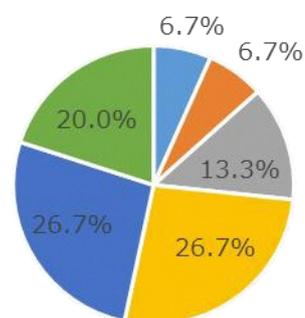
回答	件数	割合
男性	2	13.3%
女性	13	86.7%
無回答	0	0.0%
合計	15	100.0%



■ 男性 ■ 女性

年齢

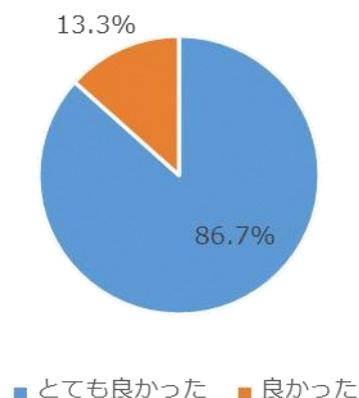
回答	件数	割合
10代	1	6.7%
20代	1	6.7%
30代	0	0.0%
40代	2	13.3%
50代	4	26.7%
60代	4	26.7%
70代以上	3	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	15	100.0%



■ 10代 ■ 20代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

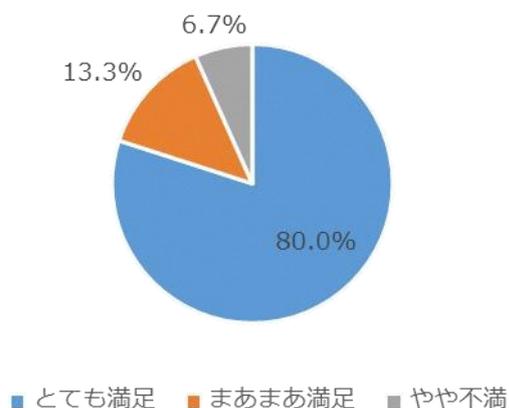
(1) 第4回会議に参加してみてもいかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	13	86.7%
良かった	2	13.3%
どちらともいえない	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
まったく良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	15	100.0%



(2) 今回の自分ごとと化会議全体を通じての満足度を教えてください。

回答	件数	割合
とても満足	12	80.0%
まあまあ満足	2	13.3%
どちらともいえない	0	0.0%
やや不満	1	6.7%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	15	100.0%



(2) の理由

とても満足

- 色々な年代の色々な地域の方と接して、地域差などがあつたり自分だけでは見えない課題が見えた。即解決する課題ではないものの、様々な提案があつて『自分ごと化会議』によって少しずつ改善する道標になることに期待を持てる会議でした。
- 様々な意見を直接聞ける機会はなかなかないので。
- 自分の班は半分が高校生でやりやすかつた
- 今回の会議に参加することで、ゴミの分別や環境などの対策について考えるきっかけとなり、周りの人達と様々な意見交換できたからです。

- いろいろな視点の話を聞くことができ、勉強になりました。話し合いをする場の雰囲気作りもとても素晴らしくて、温かい場をありがとうございました。
- 年齢 性別を超えての話し合いの中で沢山の気づきがありました。ゴミ減量について一市民として出来る事を深く考えた事は素晴らしい経験でした。
- ごみ政策課の担当者さんが明るくなった気がした。
- ゴミに対して認識が変わりました。
- 色々なアイデアを聞く事が出来た。
- ごみ問題は、行政や地域だけで無く、まさに自分ごと化なのだと改めて認めざるを得ません。世代を超えたたくさんの方々のご意見やお話しが伺えて有意義な時間でした。ありがとうございました。

まあまあ満足

- 普段話をしないような人と、意見交換が出来た！
- 第3回目に貴重な学びの機会があったように思います。出られずに残念。満足度に関係はありませんが…

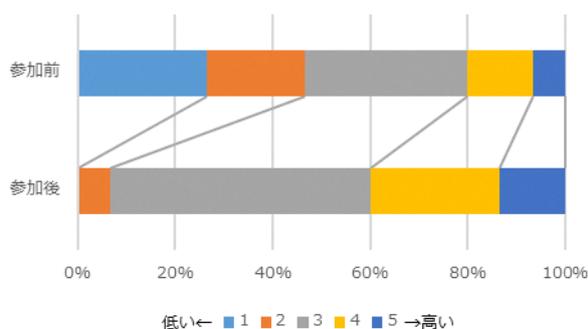
やや不満

- 4回を通じて、何か型になると思っていたので、一つの事を変えていくのは時間がかかるんだなあと思いました。

(3) 自分ごと化会議に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への関心や地域づくりに関わる頻度などに変化はありましたか。

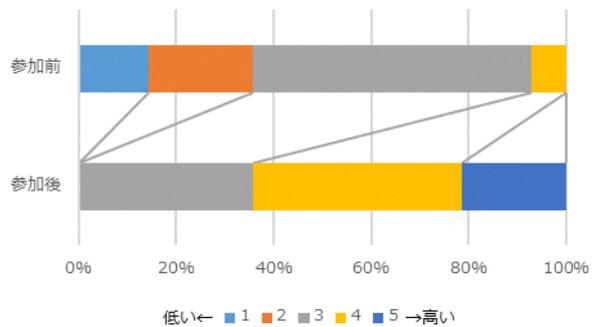
a.税金の使い方への関心

回答	会議参加前		会議参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	4	26.7%	0	0.0%
2	3	20.0%	1	6.7%
3	5	33.3%	8	53.3%
4	2	13.3%	4	26.7%
5 高い	1	6.7%	2	13.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	15	100.0%	15	100.0%



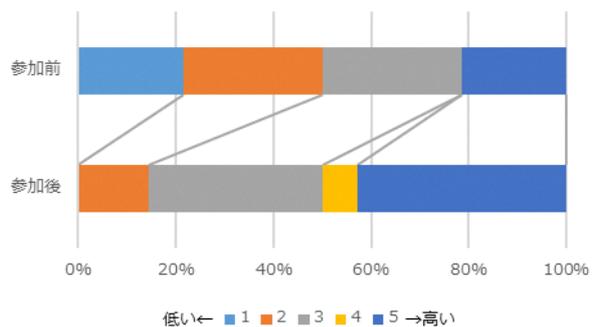
b.行政や議会の情報への関心度（広報紙・HP や議会の傍聴等）

回答	会議参加前		会議参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	2	13.3%	0	0.0%
2	3	20.0%	0	0.0%
3	8	53.3%	5	33.3%
4	1	6.7%	6	40.0%
5 高い	0	0.0%	3	20.0%
無回答	1	6.7%	1	6.7%
合計	15	100.0%	15	100.0%



c.自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度

回答	会議参加前		会議参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	3	20.0%	0	0.0%
2	4	26.7%	2	13.3%
3	4	26.7%	5	33.3%
4	0	0.0%	1	6.7%
5 高い	3	20.0%	6	40.0%
無回答	1	6.7%	1	6.7%
合計	15	100.0%	15	100.0%



（４）質問（３）以外に、自分ごと化会議に参加して意識や行動の変化があったことなどがあればご記入ください。

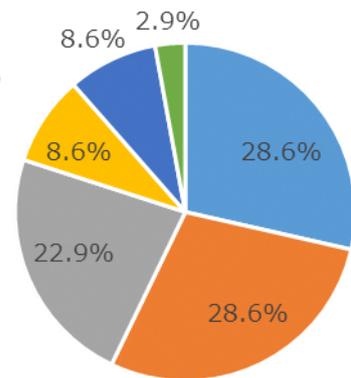
- ゴミ問題以外でも自分の中で問題意識は高まったと思います。些細な事でも自ら行動しなければと思いました。
- シーズンの過ぎた洋服のリサイクル。
- ゴミの分別表示を意識してみるようになりました。
- 行政から一方的にサービスを受ける事ばかり考えていましたが、一市民として出来る事が様々ある事に気が付きました。
- 周りを見る目が少し、広がった。

- 会議の参加前では地域と言えば行政に頼ると言う意志でしたが会議の参加後では地域は行政にお願いして行政に助かってもらう考えになりました。
- ゴミ減量化。
- しているつもりで出来ていなかったことに気付きました。45 リットルのゴミ袋 3.5 袋分の落葉を堆肥にと直径 30 cm程の鉢に水を掛けながら足踏みで詰め込みました。後は何ヶ月後にカブトムシの幼虫の住める堆肥になるのを待ちます。少しでも実践が始められました。

(5) 前橋市をより良くするために特に重要と思う主体をお答えください。(複数選択可)

回答	件数	割合
住民一人一人	10	28.6%
地域の自治会、その他のコミュニティ等	10	28.6%
市役所等の行政機関	8	22.9%
市議会等の政治機関	3	8.6%
民間企業、NPO等	3	8.6%
無回答	1	2.9%
合計	35	100.0%

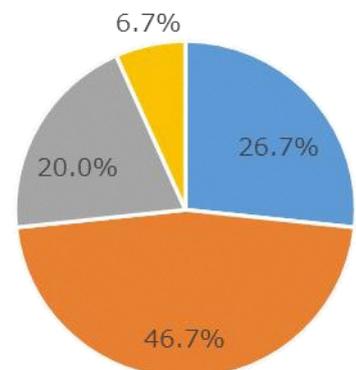
- 住民一人一人
- 地域の自治会、その他のコミュニティ等
- 市役所等の行政機関
- 市議会等の政治機関
- 民間企業、NPO等
- 無回答



(6) 現在、市の取組やまちづくりに関する活動など興味のある分野はありますか。

回答	件数	割合
興味のある分野がある	4	26.7%
特定の分野はないが、市政全般に興味がある	7	46.7%
特に興味のある分野はない	3	20.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%

- 興味のある分野がある
- 特定の分野はないが、市政全般に興味がある
- 特に興味のある分野はない
- 無回答

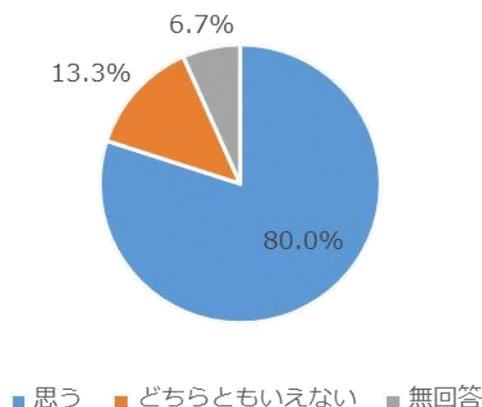


興味のある分野

- 福祉と医療。入院中の母の次の転院先、療養型病院を探し候補先の見学をさせて話しを聞かせてもらっている。直接話す事で書面では分からない病院の空気感、歪みがよく分かる。その中で本人、家族にとって何が正解なのか、幸せなのかを自問自答している。
- 赤城山の開発
- こども食堂
- 社会保険関係

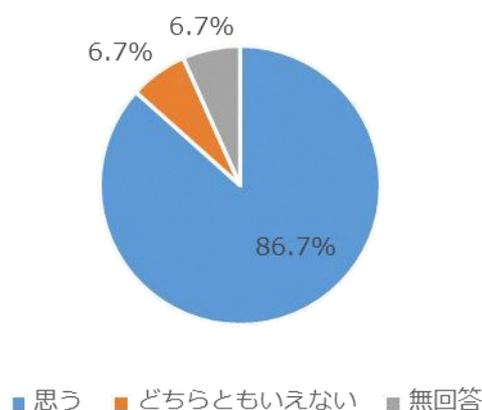
(7) 今後、前橋市自分ごと化会議のように、住民同士で市の重要課題について議論・意見交換し、市へ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。

回答	件数	割合
思う	12	80.0%
どちらともいえない	2	13.3%
思わない	0	0.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%



(8) 自分ごと化会議に参加したことで知識が深まった、勉強になったと思いますか。

回答	件数	割合
思う	13	86.7%
どちらともいえない	1	6.7%
思わない	0	0.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%



(9) 今後本会議のようなイベントへ参加したりめぶくファーム（めぶくコミュニティ）サービスを使って、まちづくりや地域貢献を継続的に行いたいと思いたか。

回答	件数	割合
思う	9	60.0%
まあまあ思う	5	33.3%
あまり思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%

